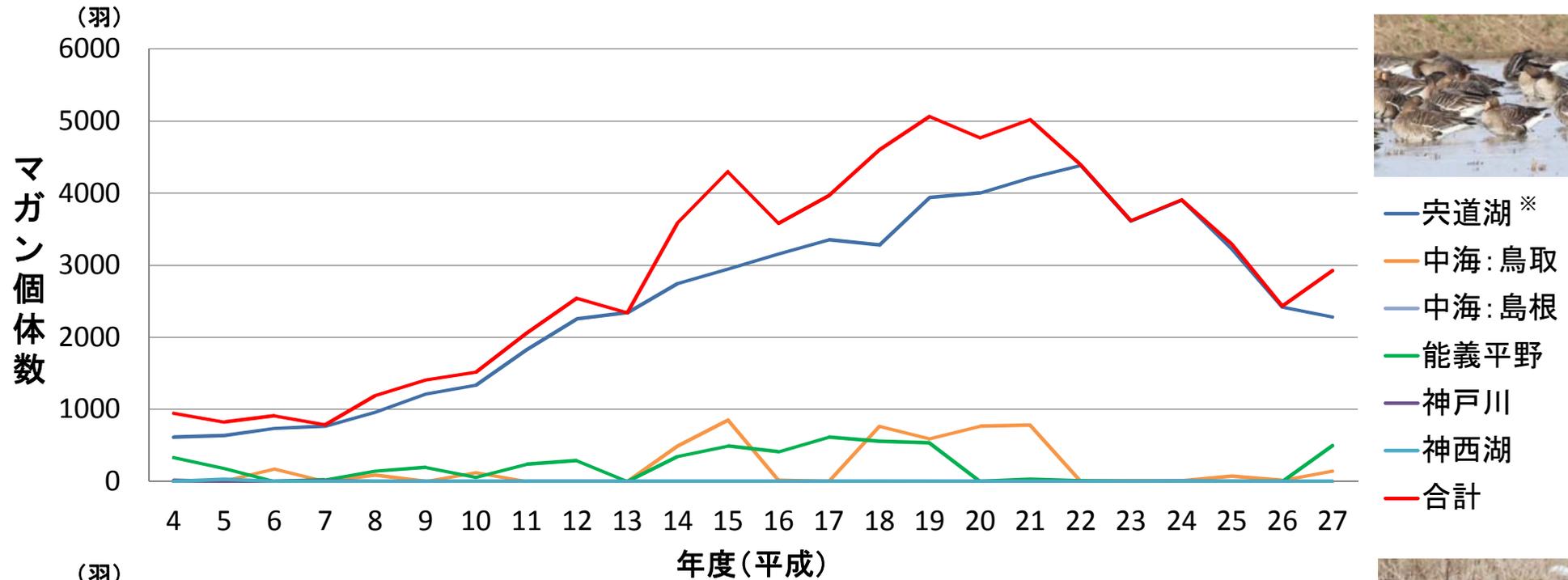


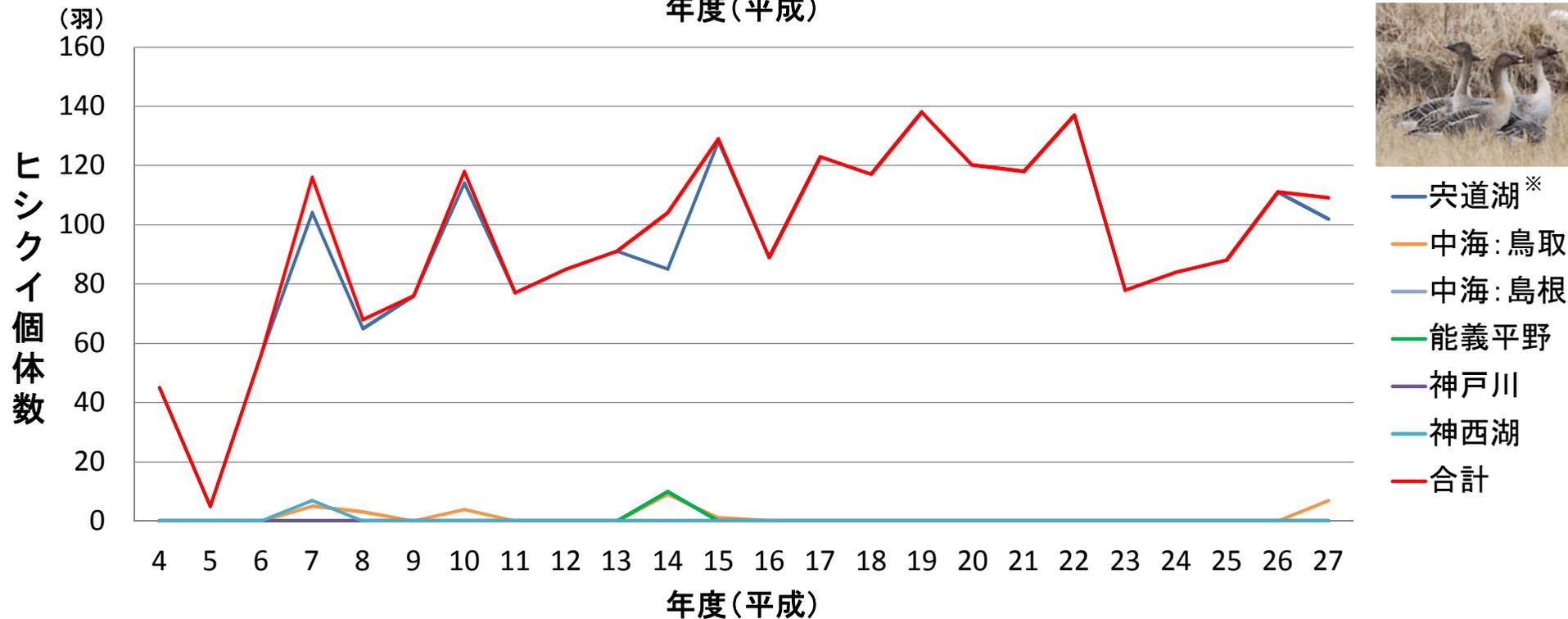
# 指標大型水鳥類に関する最近の動向について(報告)

斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会  
生息環境づくり部会

# 1. ガン類・ハクチョウ類の圏域5市への飛来状況



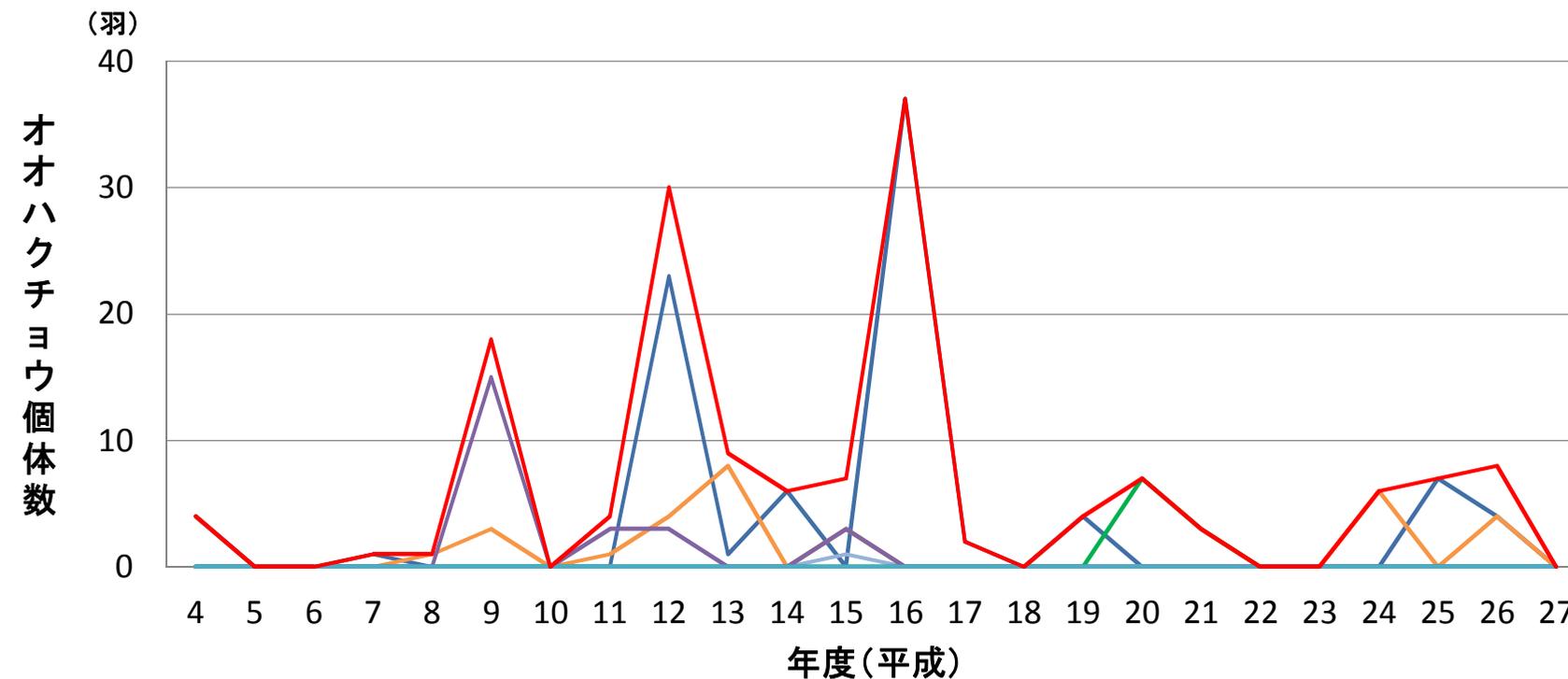
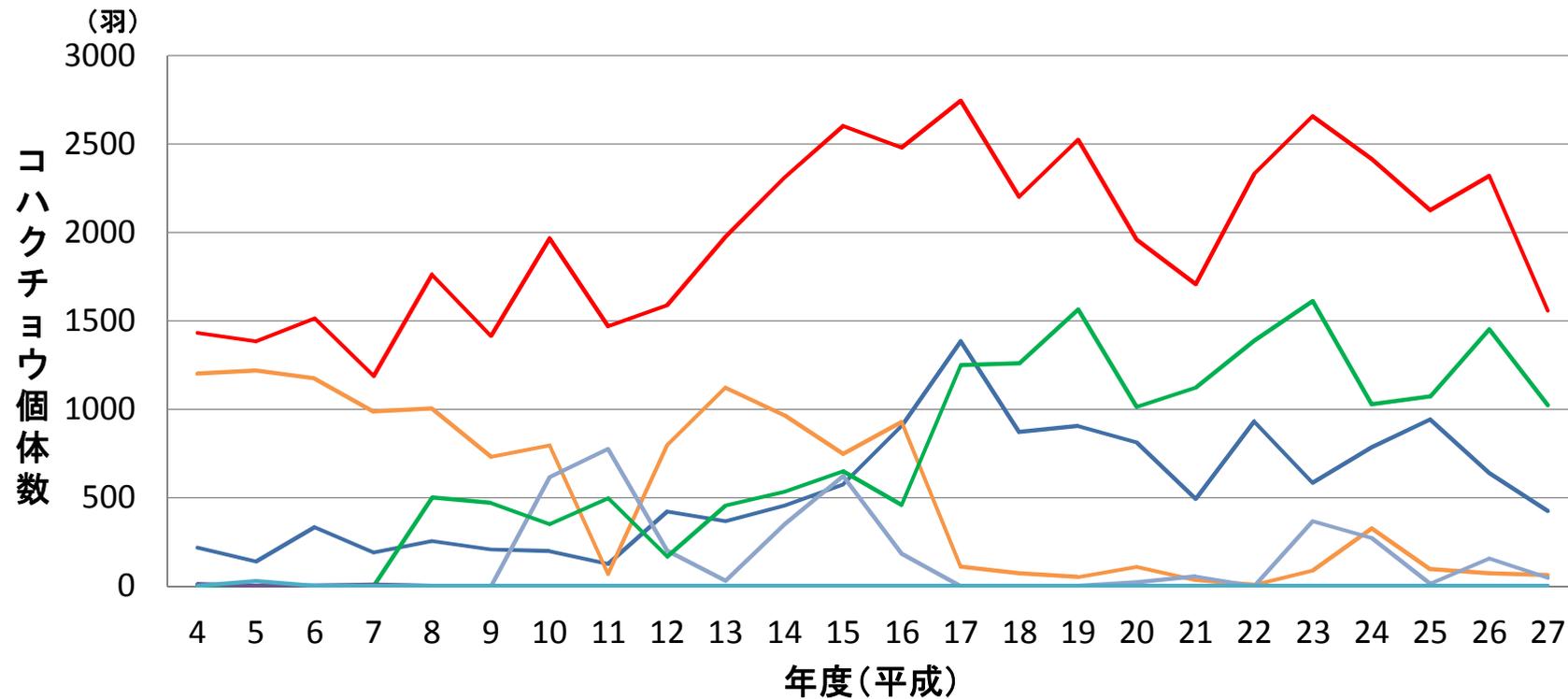
- 穴道湖\*
- 中海:鳥取
- 中海:島根
- 能義平野
- 神戸川
- 神西湖
- 合計



- 穴道湖\*
- 中海:鳥取
- 中海:島根
- 能義平野
- 神戸川
- 神西湖
- 合計

※ 斐伊川および潟の内も含む

出典:ガンカモ類生息調査(環境省)より



※ 斐伊川および潟の内も含む

出典:ガンカモ類生息調査(環境省)より

## 2. ツル類・コウノトリの圏域5市への飛来状況（平成27年10月～平成28年12月）

### 【ナベヅル・マナヅル】

- ① 平成27年12月12～18日 ナベヅル3羽 出雲市 斐伊川河口周辺
- ② 同年12月16日～平成28年2月17日 ナベヅル1羽 安来市飯梨川河口周辺
- ③ 同年12月20日 ナベヅル1羽 安来市ファーム宇賀荘冬期湛水水田
- ④ 平成28年2月15日 マナヅル1羽 出雲市 斐伊川河口周辺
- ⑤ 同年5月5日 マナヅル1羽 出雲市 神戸川下流域周辺

<以下、位置情報不詳>

【出雲市】平成28年12月13日～ 15羽

### 【コウノトリ】

- ア 平成27年10月17日 3羽 出雲市斐伊川放水路付近
- イ 同年10月22日 2羽 安来市新御堂
- ウ 平成28年7月27～28日 3羽 松江市朝酌
- エ 同年8月18日 3羽 出雲市 斐伊川からさで大橋付近
- オ 同年9月20日 2羽 松江市 古志町水田
- カ 同年9月28日 1羽 出雲市 斐川町水田
- キ 同年10月7日 4羽 出雲市 斐伊川放水路呑口付近
- ク 同年11月8日 2羽 米子市 米子水鳥公園
- ケ 同年11月13日 1羽 出雲市 斐伊川放水路分流堰沈砂池
- コ 同年11月23日 1羽 米子市吉谷

<以下、位置情報不詳>

【出雲市】平成27年11月12日 6羽

平成28年3月14日 1羽

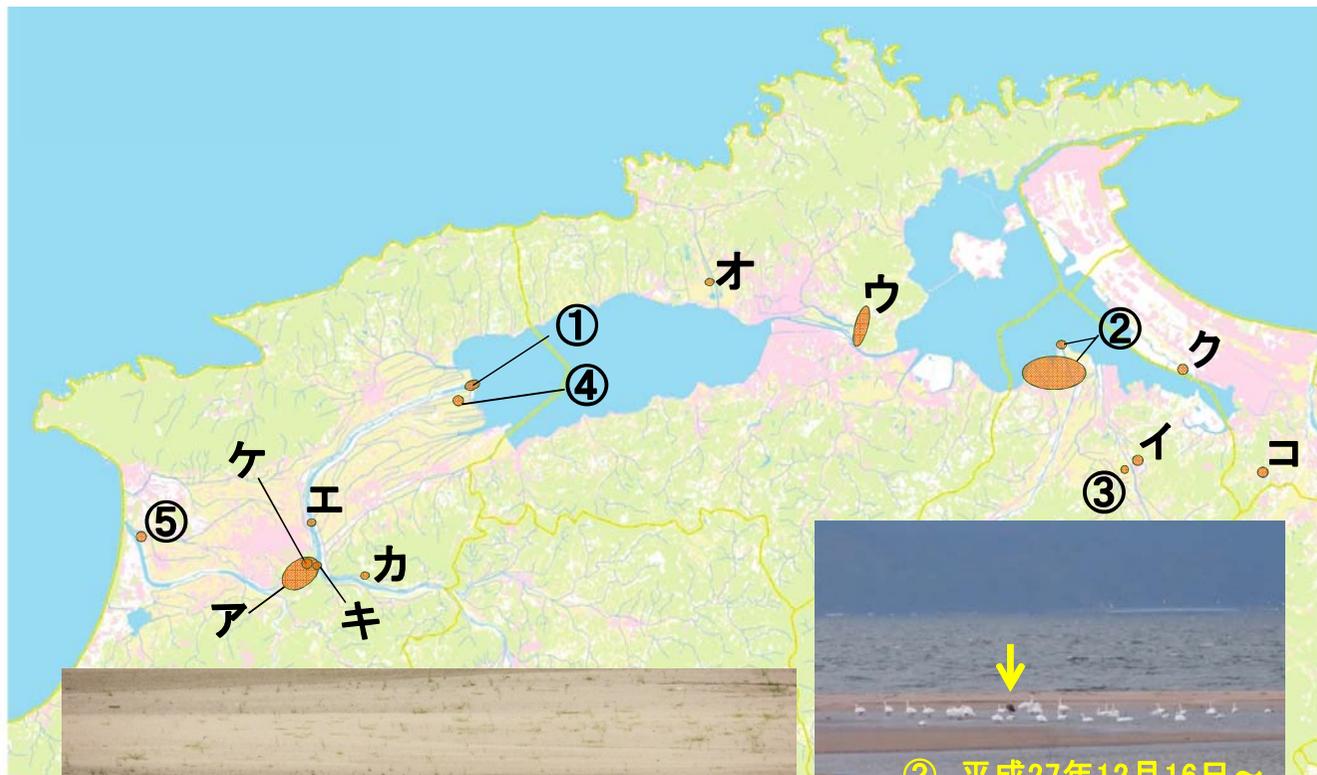
7月28～29日 3羽

8月23日 1羽

10月16・22・29日 1羽

【松江市】平成28年10月8日～9日 3羽

【米子市】平成28年5月3日 1羽



### 3. 指標大型水鳥類【ツル類、コウノトリ、トキ】に関する全国の動き(平成27年5月～平成28年12月)

#### 【ナベヅル・マナヅル】

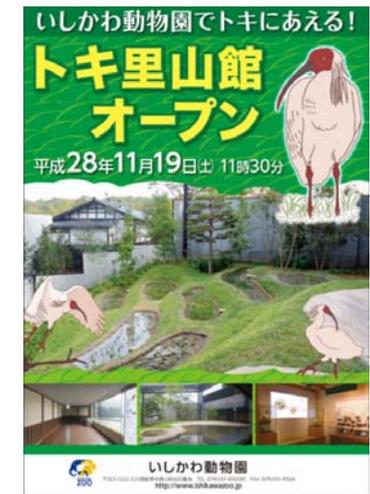
- 平成27年5月 鳥獣保護法の改正により、法定計画として「希少鳥獣保護管理計画」の策定が可能となる。
- 平成28年2月15日 環境省が「中国・四国地方ナベヅル・マナヅル情報交換会」を開催。協議会からは佐藤仁志委員(日本野鳥の会)、同・生息環境づくり部会の森茂晃委員(ホシザキグリーン財団)、出雲河川事務所等の関係者が参加。斐伊川周辺のツル類飛来状況等に関して森委員が報告。
- 平成28年4月～ 環境省がナベヅル・マナヅルの国内新越冬地形成を目標とした「希少鳥獣保護計画」の年度内策定と、今後取り組む「事業実施計画」の検討を開始。
- 平成28年7月5日 環境省が「ナベヅル・マナヅルの新越冬地形成ワーキンググループ準備会合」を開催。斐伊川流域から佐藤委員、出雲河川事務所がワークショップ等に参加。
- 平成28年12月16日 鹿児島県出水市の越冬ツルへのアクセスに規制をかける社会実験(翌年2月を予定)に向け、環境省が同市で勉強会を開催。



平成28年12月に、野生復帰等に関する日韓の取組を紹介する「コウノトリ保全国際シンポジウム」が開催

#### 【コウノトリ】

- 平成27年11月29日 「コウノトリ保全フォーラム ― 野生復帰10年、そして新たな旅立ち―」(主催:コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(IPPM-OWS))が開催され、兵庫県立人と自然の博物館の三橋弘宗氏が“コウノトリ潜在生息可能域全国マップ”を発表。その中で宍道湖・中海周辺を含む山陰地域等が『生息適地』として示される。
- 平成28年6月～ 兵庫県(豊岡市他)、千葉県(野田市)、福井県(越前市)の国内3地域より、コウノトリ野生復帰事業による巣立ち幼鳥等が野外分散し、これまで以上に全国各地の水辺環境に飛来。
- 平成28年12月10日 「コウノトリの生息域拡大に向けて」をテーマとした保全国際シンポジウム(主催:IPPM-OWS)が開催され、アジアにおけるコウノトリの野生復帰等について日本および韓国から講演。



いしかわ動物園のトキ一般公開施設「トキ里山館」が11月にオープン

#### 【トキ】

- 平成28年9月 環境省が、平成26年8月に公表した「分散飼育地におけるトキの一般公開基準」に基づき、国内4か所の分散飼育地(島根県出雲市、新潟県長岡市、石川県いしかわ動物園、東京都多摩動物公園)の一つ“いしかわ動物園”において全国初となる佐渡以外での公開を行うことを発表。
- 平成28年11月 19日、いしかわ動物園で「トキ里山館」がオープン、トキの一般公開はじまる。
- 出雲市トキ分散飼育センターの飼育トキ(5羽)を野外への放鳥候補個体等とするため佐渡トキ保護センターへ、また、新たに佐渡の飼育トキ(2羽)を出雲市へ移送することを発表。
- 平成28年12月 トキ野生復帰検討会(環境省)において、出雲市および新潟県長岡市が、トキの一般公開に向けた実施計画書案を公表。



トキ里山館では、ガラス越しにトキの生態を観察できる(※1)